

の柱を重点に各事業に取り組んでまいります。

1つ目は、「安全・安心なくらしの実現を進めます」でございます。

現在、愛知県が進めております基幹的広域防災拠点の整備に合わせ、避難所や賑わい施設整備の検討を進めております。令和4年度に、公園の構想を検討してまいりました。令和5年度は、都市計画決定の手続きや、事業認可の手続きを経て、用地取得に着手してまいります。

今後、神明公園での埋蔵文化財の調査や大山川の調節池の工事など、目に見える形で始まってまいります。工事の関係で、神明公園におきましては、4月から公園の一部を閉鎖する予定でございますので、整備期間中は、皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

事業の本格化に伴い、より一層の事業推進を図っていくため、防災拠点推進室に「用地グループ」を設置し、組織体制も強化してまいります。

引き続き、久田良木川排水機場のポンプ増強工事や境川の改修工事を進めるなど、災害に備えながら、防災拠点が、町民の皆様の活動拠点や町内外から多くの方々が集える賑わいの拠点となるよう、皆様を訪れたいと思える公園や賑わい施設としてまいります。

また、避難所での良好な環境を確保するため、指定避難所となっております小学校の体育館にスポットクーラーを追加

配備するとともに、中学校体育館の空調設計を行います。さらに、学校に防災用井戸を設置し、避難所施設の環境整備も進めてまいります。

2つ目は、「子どもを育てやすい環境づくりを進めます」でございます。

子どもがのびのびと育つためには、安心して子どもを産み、ゆとりをもって育てることができる環境を整えることが重要であると考えております。

現在、妊娠中や出産後間もない方をサポートする「ホームヘルパー派遣事業」や、子育てに不安を抱えている方をサポートする「産後ケア事業」、子どもとその家庭及び妊産婦などに対して、専門的な相談対応や必要な調査、訪問等を行う「子ども家庭総合支援拠点」の設置、保育所での病後児保育の開始など、様々な施策を講じてまいりましたところでございます。

令和5年度も、妊婦や子育て世帯に寄り添う相談支援にあわせて、子どもを産み・育てる家庭を経済的に支援するため、「出産応援金」と「子育て応援金」を支給してまいります。

また、保育園で使用するおもちゃの定額利用サービスの導入や放課後児童の居場所の拡充を行い、安心して子どもを預けられる環境の整備を行うとともに、新栄・志水小学校のトイレ設計を行うなど、子どもたちの学習環境の整備にも取り組んでまいります。

引き続き、子育て事業を総合的に展開

していき、〃豊山で生み・育てたい〃と思っていただけける環境づくりを進めてまいります。

3つ目は、「高齢者・障がい者が安心して暮らせる地域づくりを進めます」でございます。

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、世帯構造の変化や、認知症の増加に対応した生活支援のほか、見守り活動を強化する必要が有ると考えております。

人生100年時代を見据え、高齢者の方の健康増進を図るため、令和5年度から、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を開始いたします。健診結果等のデータを活用しながら、健康リスクの高い高齢者の方に対する個別支援や、地域のサロンなどで集団指導をきめ細かく行うことにより、高齢者の方が生涯にわたり健やかに暮らし続けることができるよう努めてまいります。

また、高齢者の方の外出支援と社会参加の促進を図るため、町内運行バスの高齢者割引制度も期間を延長して継続してまいります。

さらに、特別養護老人ホームにつきましても、本町内での建設に向けて、愛知県に働きかけを行ってまいりたいと考えております。

障がい者福祉につきましては、障害の重度化や高齢化、就労、住まいなど、障がいのある方が抱える生活課題などが複

雑化する中、安心して自分らしく暮らしたいけるよう、障がいのある方の生活を地域で支える体制が必要であると考えております。

緊急時の受け入れや自立生活体験、相談など、様々な支援を切れ目なく提供していくため、「地域生活支援拠点」を清須市、北名古屋市と合同で整備してまいります。

また、福祉作業所におきましては、利用者の拡大や作業内容の充実を図るため、障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型の事業所に移行してまいります。

引き続き、高齢者や障がいのある方など様々な背景を持つ人が居住する中、お互いに尊重し、助け合う包摂のまちを目指すことにより、安心して暮らしやすく、自らが思い描くスタイルで活躍でき、自己実現できるまちづくりを進めてまいります。

4つ目は、「デジタル技術を活用した快適で便利なくらしの実現を進めます」でございます。

デジタル化の進展は、スマートフォンからの様々な情報やサービスの利用、多くの人のつながり、手続や作業の自動化など、私たちの生活を、時間と場所の制約から解放し、便利で豊かなものにしてまいります。

デジタルの恩恵を、限られた人だけでなく、すべての町民の皆様に行きわたらせ、実感あるものとし、デジタルの持つ